

## つなぐ

さいちゅう  
レター2020年  
3・4月号  
vol.14

## 病院経営において重要なのは、人と組織力

## 職員一人ひとりが強みを生かし

さらにその力が同じ方向に動き出すことによって  
組織全体で最良の医療を生み出すことができる

東京都済生会中央病院院長

高木 誠

2006年より第10代目の院長を拝命し13年間にわたり院長として勤めてまいりましたが、この度、2020年3月をもって引退することとなりました。

これまでの院長としての活動を振り返ると、大きな転換期に病院のかじ取りを任せていただいたと感じています。この13年間の中で私に託された大きな使命は、人員不足の中、職員全体をまとめ、同じ方向に向かって進んでいくために、大きな組織改革を行うことでした。具体的には、それまでなかった病院のビジョンを5カ年計画として策定し、職員と共有し、それを実行に移していくことでした。救命救急センターを港区内で初めて開設したこともビジョン達成の一つの成果です。周囲の誰もが無謀と思っていた事業でしたが、それまで港区内には救命救急センターを持ち合わせた医療機関がなかったこともあり、急性期病院としての使命と考え、短期間であったにもかかわらず、職員が一丸となって成し遂げた事業でした。

さらに、私の院長としての最大の使命とも言うべき仕事は、現在の主棟の立て替え計画の実行でした。老朽化が進んだ以前の病棟から、新たに14階建ての現在の主棟へ建て替えることが決まって、いざ建築に向けて動き出した時期に、東日本大震災の影響や民主党から自民党への政権交

代とアベノミクス、東京オリンピックの開催決定などにより建築費が急激に高騰し、建築にまつわるさまざまな条件の変更を余儀なくされました。しかし、患者さんへのアメニティーの充実と職員満足度の向上に何とか近づけるように、度重なる検討を経て、現在の形に建築を進めることができました。主棟の竣工をもって、北棟から始まった3期にわたる建て替え計画が完了したこともあり、とても感慨深い仕事となりました。

高齢化の進行に合わせて、医療情勢は大きく変わり、当院の機能も変化した部分がたくさんあります。そういった状況においても、地域に根づいた急性期総合病院として、皆さんに認知していただけるよう、これまで以上に患者さんや地域の連携医療機関との信頼関係を大切に運営していくことが重要です。そして、それと同様に組織というものは、働く職員を大切にすることも重要だと考えています。働きやすく、やりがいのある職場であれば、必ず患者さんにとってより良い医療の提供につながると信じています。これからも新院長のもと、職員が力を合わせ、地域の皆さんに喜んでいただけるような、新しい病院作りに果敢に挑戦してくれることを期待しています。

※インタビュー内容をもとに原稿を作成

## クリニック紹介



### みやざきRCクリニック

院長 みやざき 宮崎 まさき 雅樹

#### 趣味

ドライブ、コンサート鑑賞、歌舞伎鑑賞

#### Clinic Data

住 所：東京都品川区北品川 2-23-2  
レジデンス品川 3 F

T E L：03-5460-1159

診療時間：午前 9：15～12：45  
午後 15：00～18：30

受付時間：午前 9：00～12：45  
午後 14：30～18：30

※インターネット予約も 24 時間可能  
(予約は前日まで)

休 診 日：木曜日 / 土曜日午後 /  
日曜日 / 祝日



## 地域のホームドクターとして、患者さんやご家族の心に寄り添いながら支えていきたい

北品川のこの地域に開業して2020年で5年目となります。もともと、地域に根差したクリニックを作りたいと考えていた中、新馬場は、昔ながらの情緒が残った人情味のある街並みで、とてもすてきな街だと思いました。また、当院では対応困難な重症患者さんがいらした場合は、紹介させていただく総合病院が近くにあるかどうか、開業する場所選びの大事な要素でした。

当院では、喘息などの呼吸器診療と睡眠時無呼吸症候群の診療に力を入れています。クリニックですので検査機器等に関してはどうしても制限はありますが、その中で呼吸器内科専門医として最大限の治療を行うことができます。また睡眠時無呼吸症候群については、これまで入院でなければ実施できなかった精密検査を、患者さんのご負担を少しでも軽減することを優先し、ご自宅で受けていただけるようにしているのも当院の特色です。

日頃の診療において、私が大切にしていることは、患者さんやご家族の心にそっと寄り添うことです。「病気を治そうとする患者さんに対して、寄り添いながらお手伝いをする」とが私の仕事だと思っています。体調を崩されて大変な思いで受診される方々に、出来るだけ緊張せずに診察を受け、満足してお帰りいただけるように日々努めています。ご心配な症状があるときは、いつでも遠慮なくご相談ください。

## SAISEIKAI NEWS

### 新乳児院建築工事の進捗報告!

現在、当院附属乳児院は2020年6月竣工予定に向けて、計画どおり建設工事を進めております。

新たに5階建て構造になり、地域の子育て支援にも力を注ぐ体制をつくり、これまでより施設の機能をパワーアップさせていただきます。入所中の子どもたちにも、今より広い生活スペースを提供することができるようになるため、職員一同、竣工を待ち遠しく思っています。

「なでしこ基金」へのご寄付ありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

令和元年12月～令和2年1月

100万円…御器谷 俊雄様、株式会社 プラスPM様  
10万円…松永 明生様

◆平成30年度「なでしこ基金」より下記品を購入いたしました。

- |                 |           |
|-----------------|-----------|
| 1、定性遺伝子検査装置     | 2、手術室手術器具 |
| 3、SCUセントラルモニター他 | 4、超音波診断装置 |

◆令和元年度「なでしこ基金」より下記品を購入いたしました。

- |                             |           |
|-----------------------------|-----------|
| 1、なでしこホールベンチ                | 2、ノートパソコン |
| 3、視野計                       | 4、超音波診断装置 |
| 5、全身用X線CT診断装置               | 6、自立式防護板  |
| 7、末梢挿入中心静脈カテーテルPICCシミュレータ 他 |           |

ご報告とともに御礼申し上げます。院内で活用させていただきます。

発行：高木 誠 編集：広報委員会

〒108-0073 東京都港区三田1-4-17  
TEL:03-3451-8211 FAX:03-3457-7949



社会福祉法人 経済生会支部 東京都済生会  
東京都済生会中央病院

